

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

No.	事業区分 補助事業 単独事業	事業名称	事業概要ほか	総事業費 【実績】 (円)	交付金 充当額 (円)	実施期間		事業の効果【実績】
			①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③経費の【実績】内訳 ④事業の対象(交付対象者、交付対象施設)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
1	単独事業	新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援金	①④町内事業者(個人事業主含む。公的団体等は除く。)で事業継続の意思を有する者に対して、支援金を給付しその活動を支援する。 ②支援金の給付、及びその支給に係る事務費 ③個人事業主 @100,000円×334者=33,400,000円 法人事業主 @200,000円×139者=27,800,000円 申請書郵送料等経費 @205,389円×1式=205,389千円	61,405,389	61,200,000	R2.6.12	R2.10.8	町内中小企業に支援金を支給することにより事業継続を支援し、コロナ禍でも事業を継続するという意欲をもたせることに効果があった。また、町内経済の下支えとしても一定の効果があった。
2	単独事業	感染予防対策用マスク等支給	①④町民にマスク等を配布し感染症予防対策に努める。 ②マスク、消毒薬の購入及びその郵送に係る経費 ③布製マスク @275円×20,400枚=5,610,000円 不織布マスク @58.3円×50,000枚=2,915,000円 消毒液等感染予防対策用品 @2,595,685円×1式=2,595,685円 ※非接触型体温計 @366,630円×3台=1,099,890円、 パーテーション 314,930円×1式=314,930円を含む。 印刷製本費 封筒印刷代 22,000円×1式=22,000円 マスク配布用チラシ印刷代 104,400円×1式=104,400円 コピー代 4.2円×46,689枚=196,097円 マスク等郵送料代 527,933円×1式=527,933円	11,971,115	8,523,967	R2.4.28	R3.9.23	全国的に感染が急拡大し、マスク等も品薄となり高騰化する中、当該事業によりマスク等を配布できたことで感染防止策として寄与し、町民に安心感を与えることができた。また、マスクの調達は町内企業から調達しており、一定の経済効果もあったと考える。
3	単独事業	臨時子育て支援給付金	①子育て世代となる主に20～40歳代を対象に給付金を支給することで、その生活に係る負担の軽減を図る。 ②④中学生以下の子供を持つ世帯に、子ども一人当たり1万円を給付。 ③給付金 @10,000円×677人=6,770,000円 申請書等郵便代 @63,240円×1式=63,240円	6,833,240	6,770,000	R2.4.28	R2.6.11	コロナ禍における子育て世帯の経済的負担軽減が図られた。
4	単独事業	防災対策事業	①④コロナ禍の中での災害避難時に、避難者を対象とし、避難所で必要となるコロナ感染症対策に備える。 ②避難所において必要な物品の購入 ③消耗品(詳細は別紙1) マスク、消毒液ほか 23,733,270円×1式=23,733,270円	23,733,270	17,758,400	R2.7.10	R3.3.26	感染症対策として災害時の避難所において3密状態を回避するために必要とされる物品を整備することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

No.	事業区分 補助事業 単独事業	事業名称	事業概要ほか	総事業費 【実績】 (円)	交付金 充当額 (円)	実施期間		事業の効果【実績】
			①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③経費の【実績】内訳 ④事業の対象(交付対象者、交付対象施設)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
5	単独事業	オール五城目応援 商品券事業	①④町民1人当たり10千円の商品券を発行し、町民の生活を支えつつ消費を喚起し、併せて町内商工業者を支援する。 ②商品券の発行及び換金業務等委託料 ③(1)通信運搬費 登録店募集申請書送付等 219,112円×1式=219,112円 (2)業務処理委託料 商品券保管換金業務等委託 ほか @96,068,044円×1式=96,068,044円 (3)消耗品 色紙 11,275円×1式(4,100枚)=11,275円 封筒 22,435円×1式=22,435円 (4)チラシ印刷代等 222,640円×1式=222,640円	96,543,506	96,068,044	R2.7.10	R3.3.10	町民生活を支援するとともに、町民の消費により町内経済を下支えすることができた。換金率97.43%。
6	単独事業	農林産物加工等出荷 応援支援金	①④朝市や直売所、学校給食等に農林産物や加工品等を出荷している個人及び任意団体に対し、支援金を給付し出荷の継続を支援する。 ②支援金の給付、及びその給付に係る事務費 ③(1)消耗品 インク代等 @39,820円×1式=39,820円 (2)印刷製本 周知用チラシ封筒印刷代 @12,925円×1式=12,925円 コピー代 @4.2円×4,288枚=18,011円 (3)通信運搬 切手代 @140円×180件=25,200円 郵便代 25,083円×1式=25,083円 (4)補助金 農林産物加工品等出荷応援支援金 @20,000円×147件=2,940,000円	3,061,039	2,940,000	R2.7.10	R2.10.27	当該事業により受給者の生産意欲の低下を防ぎ、次年度以降の生産に前向きに向かうことができた。
7	単独事業	学生等応援給付金	①④大学生等をもつ保護者の経済的な負担軽減を図るとともに、大学生等の就学を支援する。 ②応援金の給付、及びその給付に係る事務費 ③ファイル代等 11,990円×1式=11,990円 申請書等送付代 @63円×110通=6,930円 応援給付金 @50,000円×133人=6,650,000円	6,668,920	6,650,000	R2.7.10	R3.11.13	コロナ禍における学生等の保護者の経済的な負担軽減を図り、修学の継続に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

No.	事業区分 補助事業 単独事業	事業名称	事業概要ほか	総事業費 【実績】 (円)	交付金 充当額 (円)	実施期間		事業の効果【実績】
			①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③経費の【実績】内訳 ④事業の対象(交付対象者、交付対象施設)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
8	単独事業	GIGAスクール端末等導入事業	①「GIGAスクール構想」実現のための学校環境の整備に要する経費。 ②「GIGAスクール構想」に要する経費の内、文科省補助の対象外となる1人1台整備に係る経費 ③(1)備品購入 ◆タブレットPC購入必要額:16,387,170円 ・3人に1台分(地方単独事業) @58,245円×217人=12,639,165円 ・3人に2台分(国費事業)について国からの定額補助(45,000円/台)への上乗せ分 上乗せ単価 @13,245円×283台=3,748,005円 ◆その他端末に関する経費 32,847,100円 ◆PC充電保管庫 @125,000円×16台×1.1=2,200,000円 ◆モバイルWi-Fiルーター購入必要額:270,030円 ④小・中学校全生徒及び教職員	51,704,300	51,704,300	R2.7.10	R3.3.31	小学校・中学校とも一人一台端末を円滑に整備することができた。これにより、コロナ禍の臨時休校時も、家庭においてリモートで学習が可能な環境が整っただけでなく、多様な学習形態を整備することができた。
9	補助事業	学校保健特別対策事業費補助金	【感染症対策のためのマスク等購入支援事業】 ①②④小・中学校で教育用消耗品を購入使用することで、学校教育環境の感染症対策を整備する。 ③非接触型体温計等消耗品1式 @134,000円×1式=134,000円	134,000	0	R2.6.18	R3.2.12	徹底したコロナ感染対策をすることができ、児童生徒の健康を守ることができた。
10	補助事業	学校保健特別対策事業費補助金	【学校再開に伴う感染症対策・学習補償等に係る支援事業】 ①②④小・中学校で教育用消耗品を購入使用することで、学校教育環境の感染症対策を整備する。 ③(1)消耗品 非接触型体温計等消耗品1式 1,614,000円 (2)備品購入 網戸 @12,990円×20枚=259,798円 工場扇 @7,678円×3台= 23,034円 データプロジェクター@103,400円×1台=103,400円 ※データプロジェクターにより大画面で視聴することで、生徒間に適切な距離を保つことを可能とする。	2,000,232	0	R2.7.15	R3.2.22	徹底したコロナ感染対策をすることができ、児童生徒の健康を守ることができた。
11	単独事業	中小企業経営安定資金利子補給事業	①②④秋田県経営安定化資金を利用している商工業者等に対して、4年目以降の2年間の利子に対して、基金を造成しこれを原資として取崩して利子補給するもの。 ③利子補給 @338,985,000円×3.15%×2ヵ年=21,356千円	21,356,000	21,000,000	R2.7.10	R8.3.31	秋田県の利子補給3年間に町が更に2年の利子補給をする支援策により、合計131件13億3,285万円の融資実行ができ、コロナ禍における町内中小企業の資金繰りを支えることに寄与している。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

No.	事業区分 補助事業 単独事業	事業名称	事業概要ほか	総事業費 【実績】 (円)	交付金 充当額 (円)	実施期間		事業の効果【実績】
			①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③経費の【実績】内訳 ④事業の対象(交付対象者、交付対象施設)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
12	単独事業	臨時子育て世帯応援給付金事業(高校2・3年生)	①子育て世代となる主に30～50歳代を対象に給付金を支給することで、その生活に係る負担の軽減を図る。 ②④高校2・3年生の子供を持つ保護者に、子ども一人当たり2万円を給付。 ③給付金 @20,000円×128人=2,560,000円	2,560,000	2,560,000	R2.6.12	R2.7.14	コロナ禍における子育て世帯の経済的負担軽減が図られた。
13	単独事業	ひとり親家庭等緊急応援給付金事業	①②④保育所や学校等の臨時休業、事業所等の休業等に伴い、就業環境に影響を受けているひとり親世帯等のうち、児童扶養手当受給者に対し令和2年5・6月分の児童扶養手当に一律5万円を上乗せすることで、マスクをはじめとした感染症対策に必要な物品購入等の助成とし、子ども含め学校や就業等への影響緩和を図る。緊急性に鑑み係る上乗せ分については定例支給日(7月10日)を前倒しし事務処理ができ次第給付する。 ③補助金 ひとり親家庭等緊急応援給付金 @50,000円×60世帯=3,000,000円	3,000,000	3,000,000	R2.6.12	R2.6.24	子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯について、負担の増加や収入の減少などにより大きな困難が心身等に生じていることについて、金銭面で支援することができた。
14	単独事業	すくすくみらい応援特別誕生祝金事業	①②④国の特別定額給付金の基準日以降令和3年3月31日までに生まれた子どもを対象に、子育てに係る経済的支援策として、子ども一人当たり10万円を誕生祝金として、対象者の母親に所得制限を設けずに支給する。 ③補助金 すくすくみらい応援特別誕生祝金 @100,000円×24人=2,400,000円	2,400,000	2,400,000	R2.6.12	R3.3.24	コロナ禍における生活への影響が長期化する中で、子育てに対する不安から、子どもを産むことをためらうことの内容、また誕生した子どもが順調にすくすくと育つよう願いを込め、保護者の経済的な負担を軽減するために一定の効果があった。R元年度25人。R2年度出生数26人。
15	単独事業	すこやか子育て応援給付金事業	①②④保育園に入所している保護者(対象者:32件)に対して、新型コロナウイルス感染症による経済的影響を緩和するため、特に活動制限下において影響が大きかったと見込まれる4、5月分の保育料を全額補助する。 ③補助金 すこやか子育て応援給付金 (4月分)453,806円+(5月分)475,819円=929,625円	929,625	929,625	R2.7.10	R2.12.23	コロナ禍の直撃を受けた子育て世帯の経済的な負担軽減が図られた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

No.	事業区分 補助事業 単独事業	事業名称	事業概要ほか	総事業費 【実績】 (円)	交付金 充当額 (円)	実施期間		事業の効果【実績】
			①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③経費の【実績】内訳 ④事業の対象(交付対象者、交付対象施設)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
16	単独事業	健康づくり応援事業	①②④インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行による病状の重症化や医療体制の崩壊を防止するため、全町民を対象としてインフルエンザ予防接種の無償化を実施し、インフルエンザ流行時期に備え町民の健康づくりに資する。 ③(1)消耗品 A4色上質紙 @2.5円×8,000枚×1.1=22,000円 アルコールディスプレイ @4,900円×3個×1.1=16,170円 携帯用アルコール除菌ジェル @64円×9,000個×1.1=633,600円 (2)印刷製本 ケーボン券印刷他 816,948円 (3)通信運搬費 ケーボン、除菌ジェル送料 555,571円×1式(4,262件)=555,571円 (4)予防接種委託料 インフルエンザ予防接種 20,217,155円×1式(6,114人)=20,217,155円 ※6,114人の内訳:中学生以下538人、高校生以上5,576人 (5)扶助費 妊婦等インフルエンザ予防接種 50,200円×1式(13人)=50,200円	22,311,644	20,267,355	R2.9.18	R3.3.24	65歳以上の接種率の比較で、元年度は51.0%、2年度は76.9%と、25.9%上昇しており、コロナ禍における町民の健康保持を図ることができた。実際のインフルエンザの流行もなかった。
17	単独事業	救急業務対策事業	①②④救急業務に携わる職員及び救急搬送者に対して、感染症防止対策として必要となる物品を購入整備する。 ③(1)消耗品 救急用感染防止衣、折畳ベッド等災害用消耗品 2,873,101円 防火服専用洗剤・撥水剤(除菌・除ウイルス) 217,008円 (2)備品購入 エアーテント1台 3,690,500円 エアコン(架台付)1台 951,500円 暖房機1台 660,000円 冷房用インターフェイス1基 143,000円 扇風機 @10,000円×2台×1.1=22,000円 オゾンガス発生装置 @248,600円×2台=497,200円 消防被服用洗濯機 @665,500円×1台=665,500円 消防用被服乾燥機 @544,500円×1台=544,500円 洗濯機 @123,640円×1台=123,640円 乾燥機 @62,260円×1台=62,260円	10,450,209	5,086,400	R2.9.18	R3.3.31	全国的に感染が急拡大し、マスク等も品薄となり高騰化する中、当該事業により消防活動上必要なマスク数を確保できたことで、隊員間の感染防止対策を講じることができた。また、コロナ禍での災害などに備え、対応可能な装備を整備することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

No.	事業区分 補助事業 単独事業	事業名称	事業概要ほか	総事業費 【実績】 (円)	交付金 充当額 (円)	実施期間		事業の効果【実績】
			①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③経費の【実績】内訳 ④事業の対象(交付対象者、交付対象施設)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
18	単独事業	地域図書室整備事業	<p>①②④コロナ禍における町民の在宅生活を有意義なものとするため、充実した読書環境を提供することで外出や人との接触を抑制した新たな生活様式への転換を促す。また、図書館内の環境についても、消毒殺菌剤による清掃実施の頻度を高めつつ、閲覧場所に飛沫対策としてパーテーションを設置することで、利用者間の感染防止に努める。</p> <p>③(1)消耗品(詳細は別紙1) クリーンフィルム等消耗品 291,982円×1式=292,982円 (2)委託料 図書システム業務委託料 @1,737,890円×1式=1,738,890円 図書システム保守委託料 @13,500円×3ヵ月×1.1=44,550千円 (3)使用料 図書情報システム使用料 @20,000円×3ヵ月×1.1=66,000円 (4)備品購入(詳細は別紙1) 図書購入費(1,542冊)@2,979,268円×1式=2,979,268円</p>	5,121,690	2,980,000	R2.9.18	R3.3.24	コロナ禍での新しいライフスタイルの選択選択肢の一つとして、図書室の活用が注目される中、感染対策の体制を整え、蔵書数の増加や、システム導入した。このことにより図書の検索等、来室者及び貸出冊数の増加につながっており効果があった。
19	単独事業	Web会議等対応機器整備事業	<p>①②④自治体における多様な働き方対策として町有施設間(庁舎、地区公民館等9施設)でのWeb会議やモバイルワーク等の対応を可能とするための機器等を整備する。</p> <p>③(1)備品購入 パソコン @81,840円×9台=736,560円 カメラ内蔵スピーカーフォン @28,380円×9台=255,420円 液晶ディスプレイ 49型 @91,080円×9台=819,720円 ディスプレイスタンド @38,390円×9台=345,510円 プロジェクター @154,550円×1台=154,550円 プロジェクター用ソフトキャリングケース @4,840円×1台=4,840円 スクリーン 100型 @70,400円×1台=70,400円 タブレット @49,280円×90台=4,435,200円 タブレットケース @1,980円×90台=178,200円 (2)使用料 ウェブ会議システム使用料 @37,400円×1ライセンス=37,400円</p>	7,037,800	7,000,400	R2.9.18	R3.3.24	コロナ禍における会議等のWeb方式への変化やモバイルワーク等への対応ができる体制が整備された。今後のオンライン会議やリモートワークの実施に効果が期待される。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

No.	事業区分 補助事業 単独事業	事業名称	事業概要ほか	総事業費 【実績】 (円)	交付金 充当額 (円)	実施期間		事業の効果【実績】
			①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③経費の【実績】内訳 ④事業の対象(交付対象者、交付対象施設)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
20	単独事業	あったか生活応援事業	<p>①②④冬に一層流行するといわれている新型コロナウイルスから町民の健康を守るため、冬期間も換気を励行するよう促すため、町内全世帯を対象として灯油購入のための1万円相当のクーポン券を発行し、かかり増しする暖房代の一部を助成する。</p> <p>③【消耗品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラベルシート 8,690円×1式=8,690円 ・チューブファイル等 20,997円×1式=20,997千円 <p>【印刷製本費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灯油クーポン券 @112円×3,738冊=418,002円 ・コピー代 @4.2円×3,216枚=13,507円 <p>【通信運搬費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灯油クーポン送付代 @430円×3,738世帯=1,610,216円 ・返信用切手代 4,200円×1式=4,200円 <p>【補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灯油引換券等支給事業助成金 @10,000円×3,591世帯=35,904,000円 <p>※転出により一部受領あり。</p>	37,979,612	36,335,509	R2.11.20	R3.3.19	引換券の利用率96.1%と高く、町民の健康と経済的な負担の軽減を図ることができた。特に、本支援により、コロナ禍の冬期間においても換気の励行を進めることができた。
21	単独事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業	<p>①②④町の観光施設の指定管理者に対して、令和2年4月25日から同年5月10日までの期間、町として休業等のお願いした。各指定管理者ともこの要請に応じ休業し、結果として各施設を発生源とした感染者は、改めて対策を講じていることからR2年度中は発生はなく、特に当初の取り組みが町民に対する意識啓発にも効果をもたらしたといえ、次の町有施設の指定管理者4者に対し協力金を支給した。</p> <p>③425,000円（要請期間1日当たり12,500円）</p> <p>※秋田県の4月25日～5月6日(12日間)までの協力金支給額30万円⇒1日当たり換算25千円の1/2</p> <p>※1)赤倉山荘、2)五城館については秋田県感染症拡大防止協力金の支給を受けていることから、当該期間となる12日間を除く。</p> <p>【内訳】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)赤倉山荘(5/7～10) @12,500円×4日=50,000円 2)悠紀の国五城目(5/1～10) @12,500円×10日=125,000円 3)五城館(5/7～10) @12,500円×4日=50,000円 4)清流の森・盆城庵(4/25～5/10) @12,500円×16日間=200,000円 	425,000	0	R3.3.15	R3.3.26	コロナ禍が直撃し、当該施設の閉館を余儀なくされた観光施設の指定管理者の経営を支援し、再開のための感染対策の推進について効果があった。